



業種
金融

プロトコル

OTP

製品

YubiKey

導入

従業員

金融サービスのケーススタディ

このケーススタディについて

このケーススタディでは、有名なグローバルな金融サービス会社について説明します。この会社からはセキュリティ上の理由から匿名での記載を要望されました。この企業は市場をリードする成長を続けており、数千カ所以上の拠点を持つ広大なネットワークを使用し、モバイルおよびオンラインチャネルを通じて資金への素早く簡単に信頼性の高いアクセスを世界中に提供しています。このネットワークには、多くの国の小売業者、国際郵便局、銀行が含まれます。

強力な認証方法の導入

数十万件もの金融取引が毎日行われている大手金融サービス会社として、同社は強力な2要素認証を採用してシステムの侵害を防ぎ、潜在的なデータや財務損失からシステムを保護しようとしました。

2013年後半には、使いやすさ、広範な統合オプション、複数の言語や地域にわたるサポートが求められるソリューションを検討しました。

解決策

YubicoのCEO兼創設者であるStina Ehrensvar氏は、協力の手を差し伸べ、YubiKeyを使用してデータへのアクセスを保護するソリューションで対応することをPAUSDに提案しました。PAUSDは、すべてのスタッフの準備を100%整えるために3,000以上のYubiKeyを必要としました。このソリューション採用の際の障害の1つは、(当時) YubiKeyと互換性のあるiOS (Apple iPhone) がなかったことです。-- この問題はYubicoシリーズ5 USB-C/Lightningデバイスで解決されました。このデバイスはブランドを問わずほとんどのスマートフォンで機能します。

IT部門は、スタッフに対してキーを必須のものとして配布し、プロセスを微調整し続けました。そして配布前にキーをプロビジョニングすると、スタッフのキーの使用が広がっていて、より迅速に使用されていることがわかりました。

YubiKeyの統合

セルフサービスのソフトウェアアプリケーションを使用すると、YubiKeyの登録とセットアップは、同社の店舗で簡単に完了できます。セットアップが完了すると、2要素認証がアクティブになります。これは、金融取引を確認するために、担当者が初めてキーに触れたときに行われます。そのアクションでは、キーは自動的に対象のシステムに一意にリンクされ、その後のすべてのトランザクションを確認するためにタッチする必要があります。

このテクノロジーの展開先として想定していた担当者の数は多く、できるだけ透明性の高いセットアップにする必要がありました。担当者がリンクをクリックしたり、デバイスをオンラインで登録したり、その他の手間のかかる方法を使用することは望んでいなかったのです。YubiKeyでは、2要素認証を検証して有効にするために必要なすべての情報を自動的に提供できます。アソシエイトは、作成したものが利用可能な最も簡単な登録システムの1つであると確信しています。

 Learn more

yubi.co/customers-ja

yubi.co/finance